



里地里山保全再生モデル事業（熊本県南部地域（氷川町））  
地域戦略

平成18年8月

# 目次

里地里山保全再生モデル事業	01
・里地里山とは	
・里地里山保全再生モデル事業	
地域戦略の検討経緯	02
・里地里山地域戦略の策定	
・懇談会構成団体	
地域戦略[状況・現状・背景]	
・里地里山保全の背景 1 地理	03
・里地里山保全の背景 2 経済基盤と人口	04
・里地里山保全の背景 3 地域社会特性 農業	05
・里地里山保全の背景 4 地域社会特性 林業	07
・里地里山保全の背景 5 地域社会特性 観光	08
・里地里山保全の背景 6 自然と環境の特性	09
・里地里山保全の背景 7 まちづくり情報銀行	11
・里地里山保全の背景 8 立神峡・里地公園	12
地域戦略[基本方針]	
・目標と目標イメージ	13
・地域戦略のイメージマップ	14
地域戦略[予定表]	15
地域戦略[[1]竹林の防止と竹材の利用]	16
地域戦略[[2]「火の里・火の文化」を活かす 自然エネルギーの利用と循環的な里山管理]	18
地域戦略[[3]地域の資源(個性)の再発見]	21
地域戦略[[4]体験・環境学習・交流活動の推進]	24
地域戦略[実施と点検・フォローアップ]	26



立神峡

# 里地里山保全再生モデル事業

## 里地里山とは

- ・都市地域と奥山地域との中間に位置し、農林業等の様々な人間の働きかけを通じて環境が形成されてきた地域。
- ・雑木林、水田や畑、ため池、草原といった身近な自然に恵まれ、日本のふるさとの原風景を思わせるような地域。
- ・国土の約4割程度(1600万ha)を占め、メダカ等の希少種や、トンボ、カエル、カタクリなど様々な生物を育む、生物多様性保全上重要な地域。全国の希少種集中分布地域の5割以上が、里地里山に該当。
- ・身近な自然とのふれあいの場、自然環境教育のフィールド。
- ・人間が手を加えて管理することで、特有の環境が形成され、維持されてきた地域。

## 里地里山の危機

- ・近年、雑木林(二次林)を薪炭林などに利用する機会がなくなり、農山村では過疎化、高齢化による管理放棄、都市近郊では、開発等の土地利用転換が急激に進み、里地里山の喪失、質の低下が進む。

## 新・生物多様性国家戦略

こうした状況を受け、「新・生物多様性国家戦略」(平成14年3月策定)では、生物多様性を脅かす3つの危機の一つに「里地里山の危機」が位置づけられ、重点施策の一つとして、「里地里山の保全と持続可能な利用」が掲げられる。

## 里地里山保全再生モデル事業

- ・環境省は、「新・生物多様性国家戦略」を踏まえ、平成16年度から、里地里山保全再生モデル事業を実施。
- ・全国の里地里山の代表的なタイプごとに、行政、専門家、住民、保全活動団体などが参加するモデル事業を実施し、里地里山の保全・再生に取り組むための実践的な手法や体制、里地里山の普及啓発・環境学習活動等のあり方について、具体的な検討を進めるもの。
- ・これらのモデル的な取り組みを全国に発信することにより、全国各地の様々な主体による里地里山保全活動を促進する予定。

## モデル事業実施地域

モデル事業実施地域は、植生変化が進行しやすく、里地里山管理の緊急性の高い4つのブロックコナラ林(東日本)ブロック、コナラ林(西日本)ブロック、アカマツ林ブロック、シイカシ萌芽林ブロックから、各ブロックを特徴付ける生態特性、社会特性(立地特性など)や、里地里山保全活動団体の実態等を踏まえ、1地域ずつ、計4地域を選定。

- ・神奈川西部地域(秦野市)
- ・京都北部・福井地域(宮津市、綾部市、越前市)
- ・兵庫南部地域(三田市)
- ・熊本南部地域(氷川町)



管理の緊急性の高い4ブロックの生態特性・社会特性等

ブロック名	ブロックの範囲	ブロックの生態特性と管理の課題	ブロックの社会特性	モデル事業実施地域
①コナラ林(東日本)ブロック	関東、東北、東部等	・都市近郊での二次林(雑木林)が特徴的で、放置による植生変化、タケ侵入が緊急の課題。	・特に関東では都市近郊に残された里地里山で、多くの保全活動団体が活躍。	神奈川西部地域
②コナラ林(西日本)ブロック	北陸、山陽等	・農地と二次林の混在が特徴的で、その放置が課題。農地等に依存するシイカシ等が多く分布。	・過疎化が進んでいる奥山に近い里地里山が多い。	京都北部・福井地域
③アカマツ林ブロック	瀬戸内、近畿等	・都市近郊のため地が特徴的で、トンボ類や多くの希少種が生息。タケ枯れに対応した管理が課題。	・比較的都市に近い里地里山が多く、開発等土地利用転換が進行。	兵庫南部地域
④シイカシ萌芽林ブロック	九州、四国南部等	・温暖な気候のため、二次林に侵入する竹林の管理が課題。	・都市近年から奥山まで多様な立地特性の里地里山が存在。	熊本南部地域

# 地域戦略の検討経緯

## 里地里山地域戦略の策定

熊本県南部地域の地域戦略の策定に当たっては、保全活動団体、地元住民の団体、農林業関係者、氷川町、熊本県、国の関係省庁（環境省、農林水産省、国土交通省）、専門家等で構成する懇談会を設置し、対象地域の里地里山の現況、課題、具体的な事業案等について、検討を行いました。とくに、立神峡公園に配置され、里地里山の環境学習拠点となっている里地公園と、公園を含む立神地区を中心に、地域調査、竹林保全活動、環境学習プログラムの拡充等の試行活動を取り組み、本格的な実施に向けて、課題を把握しました。

里地里山保全再生モデル事業調査(熊本県南部地域)の進め方



### 懇談会 構成団体

<b>専門家</b>
九州大学芸術工学部環境設計学科教授 重松敏則
九州大学大学院芸術工学研究院環境計画部門助手 朝廣和夫
<b>地域活動団体</b>
里山クラブ どんごろす
立神峡里地公園管理組合
宮原ギロッチョクラブ
氷川せせらぎの会
宮原農火の会
宮原好きネット
立神フレッシュ村
<b>自治組織</b>
まちづくり情報銀行 楯支店
まちづくり情報銀行 早尾支店
まちづくり情報銀行 今支店
まちづくり情報銀行 東上宮支店
まちづくり情報銀行 立神支店
まちづくり情報銀行 川上支店
<b>農林業関係者</b>
J A やつしろ
八代森林組合
氷川町農業委員会
<b>市町関係</b>
氷川町宮原振興局
企画課
商工観光課
学校教育課
生涯学習課
総務振興課
住民課
(オブザーバー) 八代市東陽支所
(オブザーバー) 東陽交流センター「せせらぎ」
<b>熊本県関係</b>
環境生活部 自然保護課
農政部 農村整備課
林務水産部 森林整備課
八代地域振興局 総務部総務振興課
八代地域振興局 農林水産部林務課
<b>各省庁</b>
環境省 自然環境局自然環境計画課
環境省 九州地方環境事務所
農林水産省 農村振興局地域整備課
農林水産省 九州農政局農村整備課
国土交通省 都市・地域整備局公園緑地課
<b>事務局等</b>
国立公園協会
里地ネットワーク



# 地域戦略 [ 熊本県南部地域の状況・現状・背景 ]

## 里地里山保全の背景 1 地理

- ・ 熊本県氷川町は、平成 17 年 10 月 1 日に、旧竜北町、旧宮原町が合併して誕生。
- ・ 里地里山保全再生モデル事業は、立神峡公園エリアを含む旧宮原町の地域を対象。
- ・ 立神峡公園は、五木五家荘県立自然公園特別地域に指定、氷川流域の宮原地区に位置する。
- ・ 氷川は、八代郡旧泉村（八代市）を源流とし、旧東陽村、宮原地区、旧鏡町を経て、旧竜北町とも接しながら八代海に流れている。
- ・ 熊本県氷川町宮原地区（旧宮原町）は総面積 9.89km<sup>2</sup> で、可住地面積 7.0 km<sup>2</sup>。

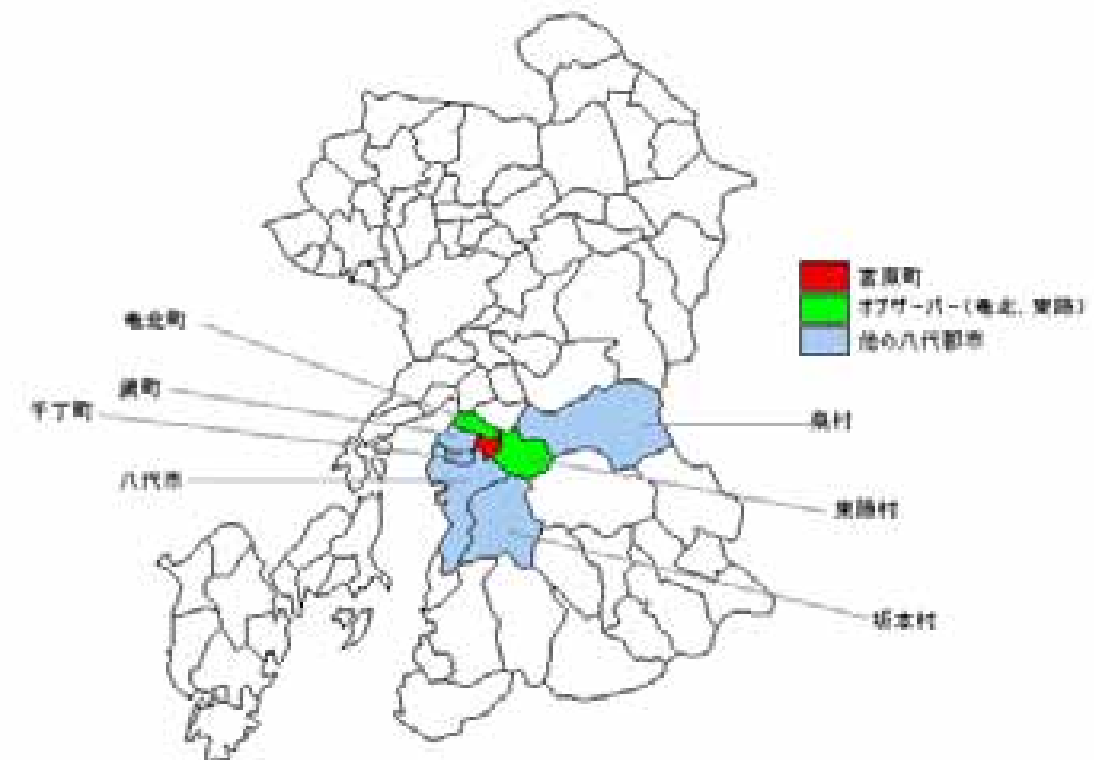
熊本南部地域 氷川流域地図



熊本県における新町村区分と氷川町の位置



熊本県における旧市町村区分と宮原町等の位置



## 里地里山保全の背景 2 経済基盤と人口

- 宮原地区の主要産業は、農業・商業である。
- 古くは、商業地として栄え、江戸時代には宿場町・門前町であった。
- 氷川での火打ち石の産出、立神地区での石切などが行われていた。
- 宮原地区の人口は、長期的な微減であり大きな変動はないが、高齢化、過疎化が進んでおり、荒廃農地等の問題を抱えている。

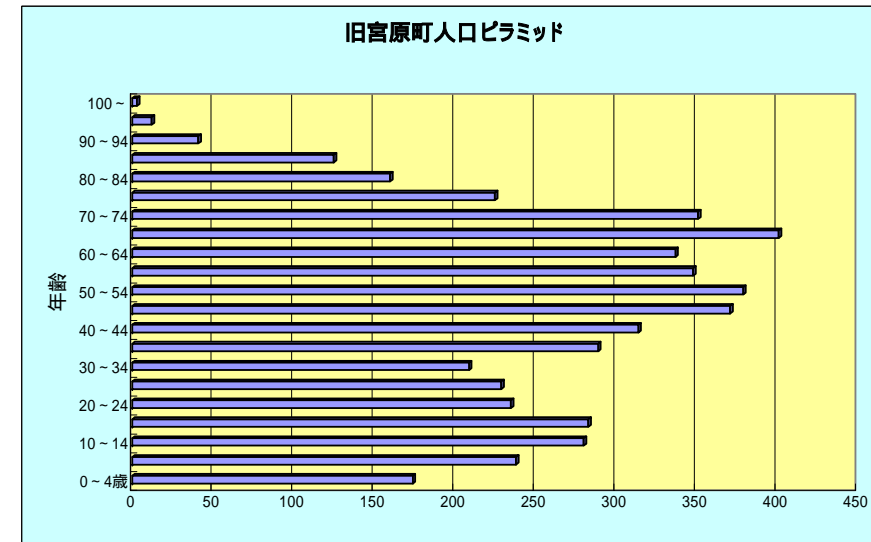
### 旧宮原町の経済基盤

	人口総数	昼間人口	課税対象所得	納税義務者数	事業所数	従業者数	農業粗生産額	製造品出荷額等	商業年間商品販売額	商業事業所数
統計年	2000	2000	2000	2000	2001	2001	2001	2001	2001	2002
単位	(人)	(人)	(百万円)	(人)	(所)	(人)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(所)
宮原町	5,004	4,349	4,574	1,668	280	1,563	1,030	467	3,602	90

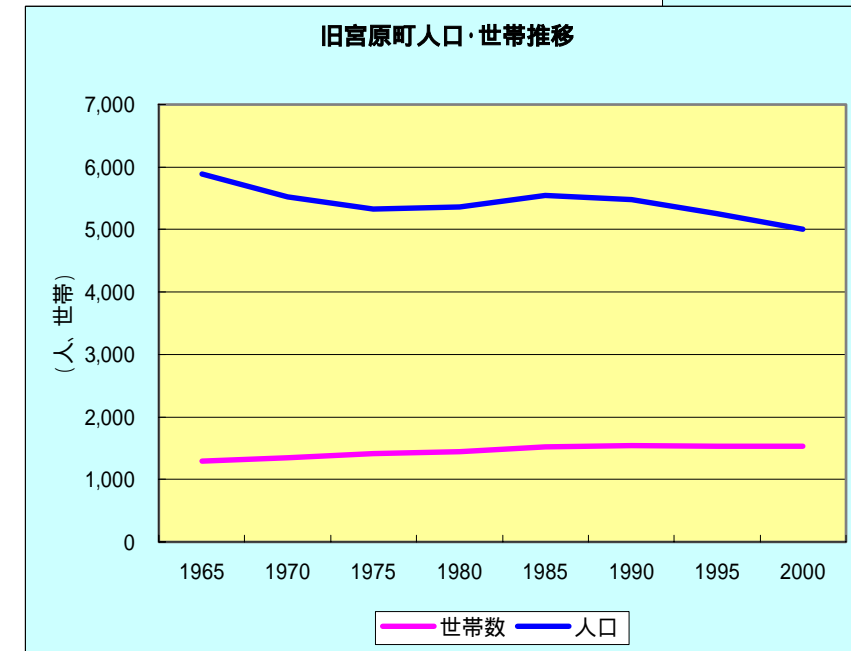
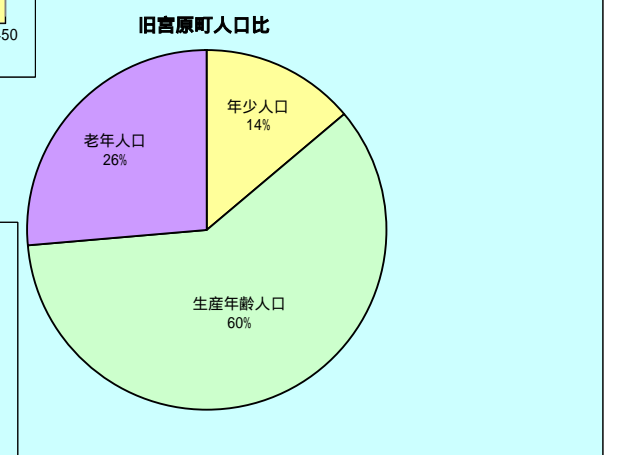
熊本県統計データ

### 八代地域の各町村人口と面積(旧市町村区分)

	市町村制等 施行年月日	面積 H11.10.1 km2	人口 H12.10.1 人	世帯数 H12.10.1 世帯	人口 密度 人 / km2	特別立法による指定					
						過疎	山村	農振	農工	拠点	農山村
宮原町	(町制)M22	9.89	5,004	1,531	506						
竜北町	(合併)S29.4.1 (町制)S49.4.1	23.4	8,721	2,333	372.7						
東陽村	(合併)S30.2.1	64.56	2,805	787	43.4						
八代市	(市制)S15.9.1	146.71	106,141	35,824	723.5						
坂本村	(合併)S36.4.1	162.82	5,771	2,050	35.4						
千丁町	(町制)S51.9.1	11.18	6,989	1,868	625.1						
鏡町	(合併)S30.2.1	28.24	16,174	4,638	572.7						
泉村	(合併)S29.10.1	266.59	2,775	889	10.4						
都市計(A)	-	713.39	154,380	49,920	216.4						
県計(B)	-	7,403.68	1,859,344	647,216	251.1						
(A)/(B)(%)	-	9.6	8.3	7.7	-						
出典	-		平成12年度国勢調査	同左		熊本県市町村要覧 (H13.1.1現在)					



平成12年県統計調査課統計表より



### 旧市町村別、年齢3区分別人口年齢構造係数及び年齢構造指数

市町村名	年齢3区分別人口(人)			年齢構造係数 (%)			年齢構造指数			
	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)	年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	老年人口	従属人口	老年化指数
宮原町	692	2,994	1,318	13.8	59.8	26.3	23.1	44.0	67.1	190.5
八代郡	6,701	28,854	12,682	13.9	59.8	26.3	23.2	44.0	67.2	189.3
八代市	16,667	67,158	22,237	15.7	63.3	21.0	24.8	33.1	57.9	133.4
県計	288,654	1,173,790	396,020	15.5	63.1	21.3	24.6	33.7	58.3	137.2

2000年国勢調査

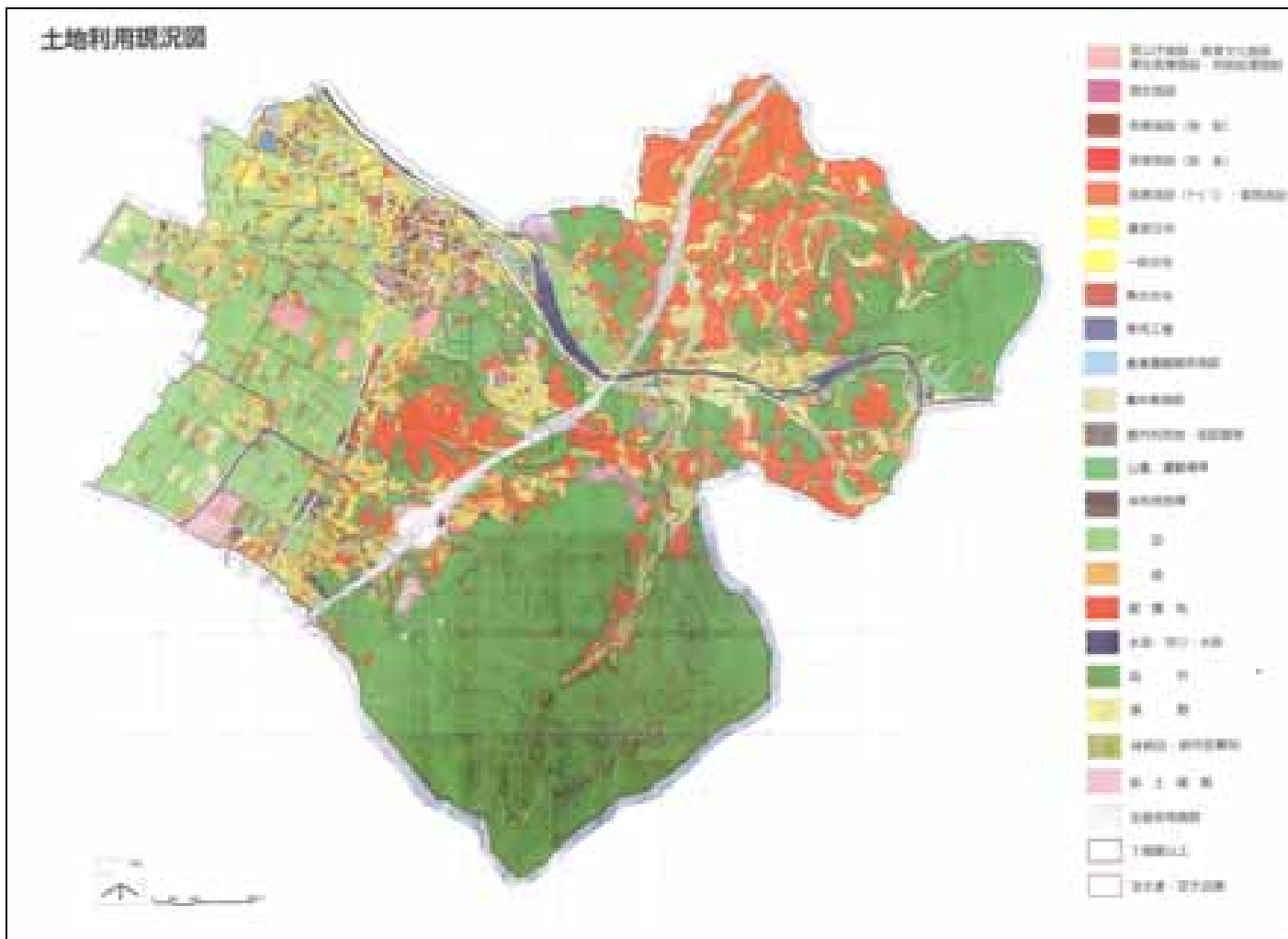
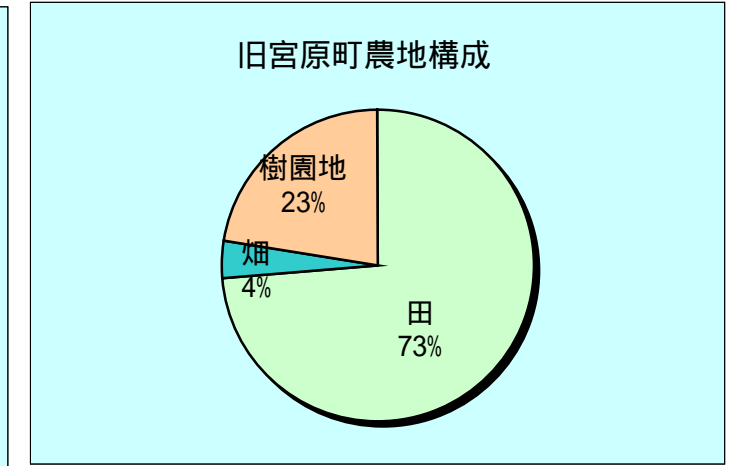
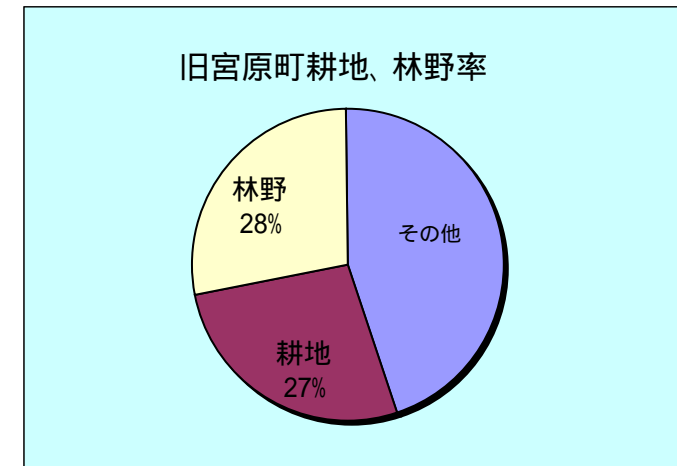
### 旧宮原町人口推移

区分 年次	世帯数 (世帯)	人口(人)			世帯当たり 人口(人)	人口密度(/ 平方km)
		総数	男	女		
1965	1,291	5,884	2,765	3,119	4.3	595
1970	1,347	5,227	2,604	2,913	4.1	558
1975	1,412	5,329	2,500	2,829	3.8	539
1980	1,450	5,362	2,524	2,837	3.7	542
1985	1,524	5,546	2,587	2,959	3.6	561
1990	1,542	5,480	2,517	2,963	3.6	554
1995	1,533	5,258	2,414	2,847	3.4	531
2000	1,531	5,004	2,286	2,718	3.3	506

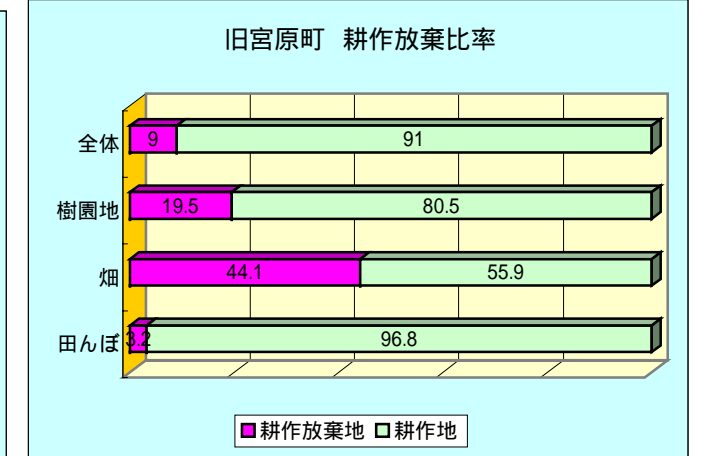
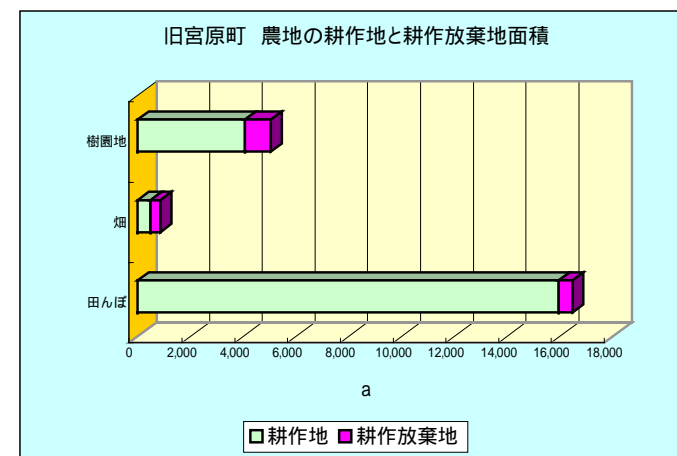
宮原町HPより

### 里地里山保全の背景 3 地域社会特性 農業

- ・ 熊本県氷川町宮原地区（旧宮原町）は、林野と耕地が過半を占めている。
- ・ 農業は宮原地区の主要産業であり、農地のうち、水田は73%を占め、樹園地は23%となっている。樹園地の多くはかんきつ類である。販売額では、トマトが最も多くなっている。
- ・ 耕作放棄地は、畑地、樹園地で多く、樹園地の荒廃は、直接、里地・里山の荒廃につながりかねない。
- ・ 農家人口に占める高齢者割合も高くなっている。
- ・ その中で、若手生産者や女性生産者がグループを組んで産直販売などに乗り出している。



旧宮原町土地利用調整基本計画より



旧宮原町・八代地域の農家・農地

単位：戸・a

	総農家	販売農家	自給的農家	計		田		畑（樹園地を除く）		樹園地	
				実農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積	農家数	面積
宮原町	215	166	49	215	22,424	181	16,485	74	882	109	5,057
八代地域	6,629	5,420	1,209	6,626	848,390	6,016	776,241	2,181	22,888	1,242	49,261

旧耕作放棄地の面積

単位：a

	計		田		畑（樹園地を除く）		樹園地	
	農地	放棄地	農地	放棄地	農地	放棄地	農地	放棄地
宮原町	22,424	1,904	16,485	529	882	389	5,057	986
八代地域	848,390	24,080	776,241	12,932	22,888	5,395	49,261	5,753

旧市町区分での農業産出額(平成14年)

(単位 千万円)

	産出額	耕種										畜産 総合	加工 農産物
		総合	米	麦類	雑穀・豆類	いも類	野菜	果実	花き	工業農産物	種苗・苗木		
宮原町	100	87	13	0	0	1	47	12	5	8	0	X	7
竜北町	524	450	105	7	0	6	185	73	11	58	3	27	48
東陽村	105	98	4	-	0	1	80	8	2	1	2	X	1
坂本村	38	35	9	0	0	0	17	5	1	3	1	X	1
千丁町	312	197	62	1	0	0	20	-	6	108	-	-	115
鏡町	690	517	123	9	0	9	199	-	8	170	-	8	165
泉村	44	38	1	-	0	1	9	1	9	17	1	0	6
八代市	2,076	1,884	330	1	0	4	1,271	42	25	209	2	8	184
八代地域	3,889	3,306	647	18	0	22	1,828	141	67	574	9	43	527
熊本県	32,550	23,690	5,380	270	200	570	10,390	3,300	1,200	1,910	470	8,280	580

- 1) 農林水産省統計部「生産農業所得統計」結果による。
- 2) 生産農業所得には、新生産調整推進助成補助金等を含む。
- 3) 日本標準産業分類の改訂により、平成13年から野菜に「もやし」が含まれている。

旧宮原町 平成14年 農作物作付け栽培面積と収穫量

(単位 ha・t)

水稲		小麦		かんしょ		春植えばれいしょ		大豆		小豆	
作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
108	562	0	1	2	41	1	20	2	4	2	...

きゅうり		トマト		キャベツ		はくさい		たまねぎ		だいこん	
作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量	作付面積	収穫量
1	22	10	1,190	1	29	0	1	1	31	2	62

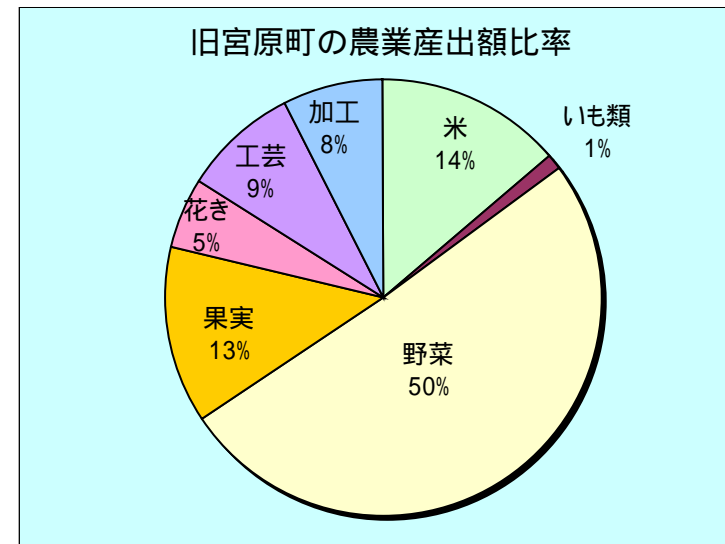
みかん		日本なし		不知火(デコボン)	
栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量	栽培面積	収穫量
10	132	2	40	2	11

九州農政局まとめ

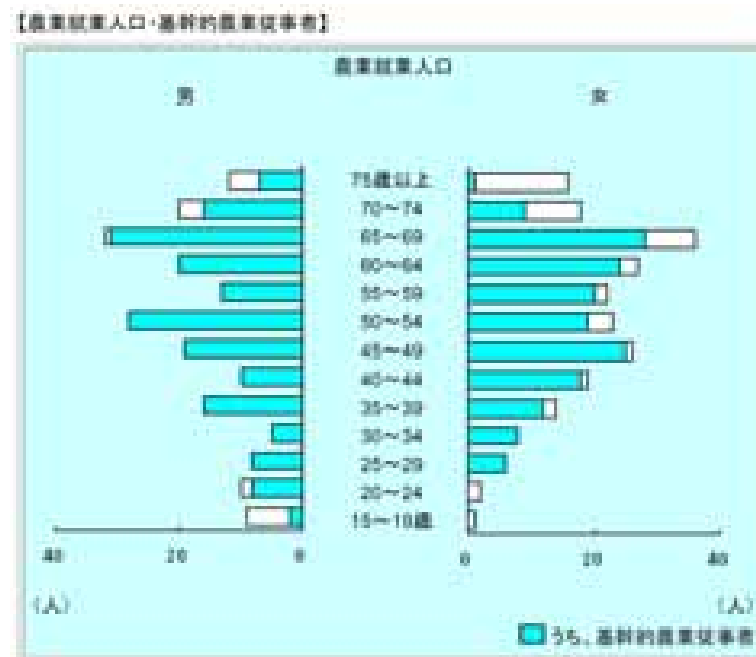


注：農業生産状況(%)は、生産額の高いものから並べたもの。生産農業所得は、10aあたりの金額で、農業生産所得全体から出したもの。旧市町村区分八代地域振興局HPより

農産物直売施設



旧宮原町農業就業人口動態



J Aかあちゃん市場(直売所)



であい市場(直売所)  
このほか、立神地区に立神フレッシュ村がある



氷川道の駅内の直売所